

⑦ 金沢八景から金沢文庫（称名寺）を堪能！

催行日：2017年6月28日（水）現地集合：9:30

集合場所：京浜急行 金沢八景駅 改札口

*中川駅 8:29 発 → 上大岡駅 9:11/9:18 → 金沢八景駅 9:28 着

注：上大岡駅(京浜急行)では1・2番線で、特急・三崎口行に乗車してください。(又は快特・久里浜行)

駅舎を背に正面の大通り(国道16号線)を、左(北方向)に進みます。右手前方にシーサイドラインの駅舎を見上げながら進むと信号の先、左手に瀬戸神社が現れます。源頼朝が伊豆の三島大社の分霊を祭り篤く信仰して社殿の造営を行いました。また五月十五日の例祭には神輿が出て対岸の琵琶嶋神社に渡ります。一説にはこの神社を信奉し、琵琶湖の竹生島から勧請した弁天を祭った北条政子と頼朝との1年一度のデートが行われるとも伝えられています！



瀬戸神社と琵琶嶋神社

ここは金沢八景の一つである「瀬戸の秋月」の夜景を今に伝えるところでもあります。

「よるなみの瀬戸の秋月小夜更けて 千里のおきにすめる月かけ・・・京極高門」



瀬戸神社を出て少し戻って信号を渡り左に進むと瀬戸神社の正面に、平潟湾に突き出るようにして小さな島があり、可愛い橋でつながり、その先の島の先端に琵琶嶋神社が立っています。

そこを出た先に「千代本」という料亭があります。この平潟湾に面して多くの料亭があったそうです。その先の歩道橋のあるところで16号線を進むと宮川にかかる橋の所に姫小島水門跡の看板があります。そして川に沿って下った先の瀬戸橋の左手の料亭「東屋」があったところに明治憲法草創の地の説明文があります。その先の曲がり角の広場には東屋前から移された「明治憲法草創碑」が立っています。この碑に沿って進めば「称名寺」から「金沢文庫駅」に至ります。



憲法草案草創の碑



須崎神社と龍華寺とその境内



そして右手に最初に現れるのが「洲崎神社」です。その隣に「龍華寺」が並んでいます。そしてその先には「安立寺」、通りに反対側にある「天然寺」を見やってみると右手に「伝心寺」その先の三叉路の正面に「金沢八幡神社」がります。更に直進すると正面に称名寺の入り口が見えて来ます。その右手前に「薬王寺」がありますが、現在屋根瓦の吹き替え中なのでパスします。正面の門を潜って中に入るとお店や民家も混じった参道が続きます。そして正面に称名寺の大きな山門が力強そうな仁王様を伴って現れます。そういえば薬王寺の門前に次のような言葉が書いてありました・・・「心をのぞいてみたら色気と欲ばかりだった、己の心の醜さを捨てることが悟りへの道」・・・如何でしょうか？

称名寺は金沢北条氏の菩提寺で、この地に館須崎神社を構えた北条実時が1259年に建立したと記録にあります。その後2代顕時から3代貞顕に至って大伽藍が完成されました。左手の山の隧道の先に学問を愛した初代北条実時が集めた蔵書を展示した「金沢文庫」があります。これも北条氏の勢力が弱まると徳川家康や前田、足利家などに持ち去られていきます。山門をくぐるとその先に美しい「浄土庭園」が広がっています。正面の大きな池は「阿字ヶ池」と呼ばれ、その中央を朱色の反り橋と平橋とが金堂へと導いてくれます。この橋を渡ると浄土の世界だそうです。右手に茅葺の鐘楼、その前に釈迦堂があります。その脇を出ると市民の森につながる広場に出ます。その静かな広場を抜け、山にかかると足元には様々な野草や蛇イチゴなども見られます。何段かの階段を登った先にひっそりと実時の墓がありました。お墓の前を横切っている道を右に入れば市民の森の遊歩道です。金沢文庫方面へ抜けられます。この時期、藪蚊などにご注意ください。もと来た道に戻り金堂の前を過ぎてその奥の広場に出ます。その先の隧道を潜った先に「金沢文庫」があります。入館料は250円(65才100円) 時間があれば見ても良いでしょう。

特別展「新羅・元暁法師展」600円(65才200円)



安立寺



伝心寺



金沢八幡神社



称名寺参道の茶屋



称名寺の山門



阿字ヶ池にかかる浄土へ続く反り橋



阿字ヶ池から金堂を望む風景



金沢文庫へ続く隧道

そして先ほどの山門まで戻り、表通りに出ます。表に出る手前に小さな可愛い茶屋があります。このお店で「あなご丼」1400円など如何でしょうか、お薦めです。

門を出て右に曲がります。軽い坂を下っていきます。15分ほどで「金沢文庫駅」に到着です。駅のすぐ手前の角に焼鳥屋さんと並んで魚専門のお店があります。ここで「イワシの刺身ランチ」990円も結構美味しかったです！ お疲れさまでした。

米村・鈴木



瀬戸神社の境内に咲く珍しい紫陽花たち



龍華寺の鬼瓦



*明治憲法草創の碑

明治21年（1888年）伊藤博文は井上毅、伊藤巳代治、金子堅太郎らと東屋旅館で憲法の草案を練っていました。後にその作業は盗難や漏洩を恐れて、夏島にある伊藤の別荘で行われました。昭和10年、金子堅太郎の書による碑が東屋の庭に建てられましたが、東屋の廃業で一時、伊藤の旧別荘に移されましたが、後に現在地に移されました。

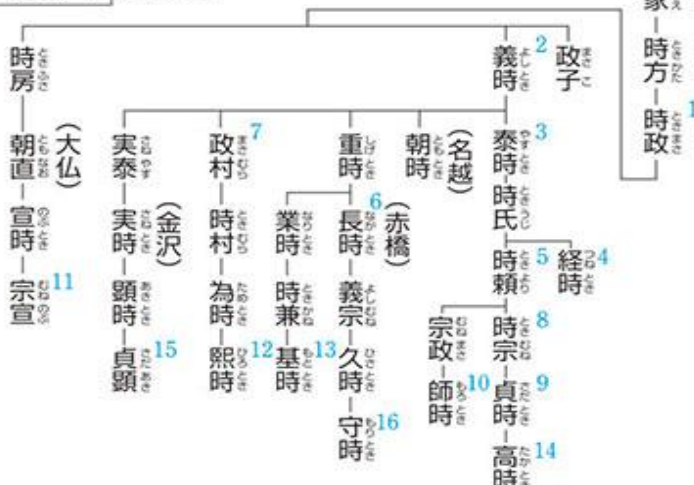
*瀬戸神社

かつて瀬戸の内海は狭い出入り口で平瀬湾と接していました。この辺りは急流渦巻く交通の難所で、古代人は海神を祀り厚く信仰していました。鎌倉時代、源頼朝はこの霊地に伊豆三嶋明神を勧請し、鎌倉の東北の守りとしました。鎌倉幕府滅亡後も足利氏父子や徳川家康も参拝しています。境内には樹齢千年とも伝えられるカヤの木や多くの名木古木があります。





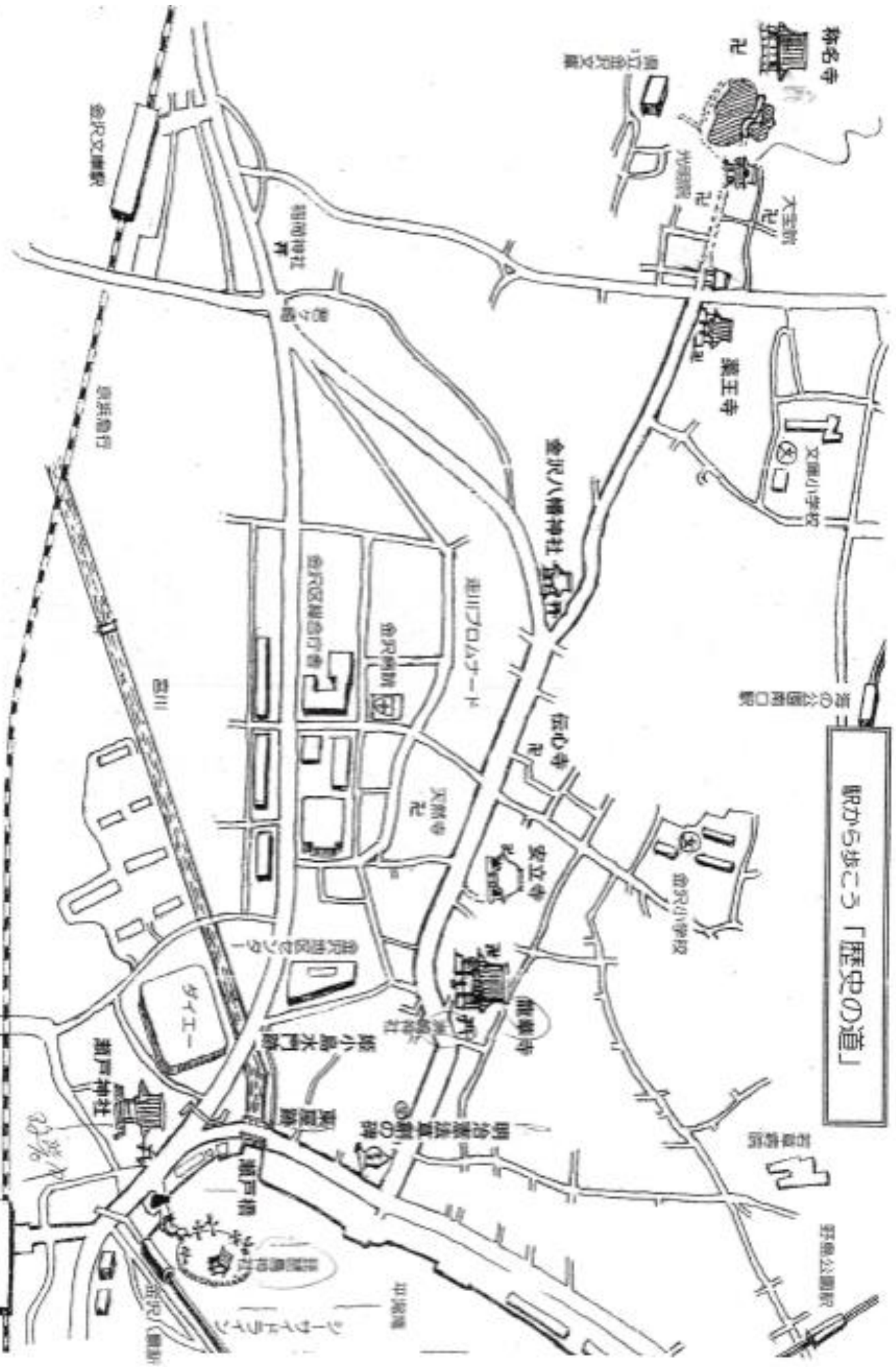
北条 略系図



*数字は執権順位

- 1185 守護/地頭を置く (1192 源頼朝 征夷大将軍)
- 1199 源頼朝死去、頼家が将軍 (十三人の合議制)
- 1203 比企能員の变:北条時政が比企一族を滅滅
源頼家は修禅寺に幽閉 (1204/7 暗殺)
実朝が将軍 北条時政が初代執権となる
- 1205 牧氏事件 北条時政・牧の方(後妻) と北条義時・北条政子の争い、北条義時が勝利 2 代目執権
- 1219 源実朝が鶴岡八幡宮で公暁に暗殺される
- 1221 承久の乱(後鳥羽上皇) (1219~1225 尼将軍)
- 1226 九条頼経が 4 代目将軍
- 1268 北条時宗が執権。元からの服属要求を断る
- 1274 元寇 文永の役 1281 元寇 弘安の役
- 1332 後醍醐天皇が隠岐に流刑(翌年、脱出)
- 1333 鎌倉幕府の滅亡。建武の中興

駅から歩こう「歴史の道」



金沢八景駅
 横濱金澤シナイナイド協会 (無断転載禁止)